

# SNSにおける5G関心の日中台比較分析

—情報通信産業構造の視点から—

○華金玲\*1、欧吉虎\*2、陳怡廷\*2、白土由佳\*3

<sup>1</sup>慶應義塾大学 <sup>2</sup>台湾国立東華大学 <sup>3</sup>文教大学

**Keywords** : 5Gの普及、5Gの社会的関心、5Gの社会的受容、情報通信産業、国際比較

## 1 目的

本研究は国内外で注目されている「第5世代移動通信システム（以下、5G）」の普及に向けて、日本・中国・台湾における5Gへの社会的関心を明らかにする。

## 2 方法

### 2.1 データ収集方法

社会的関心の把握には多種多様な調査手法を用いられるが、本研究はソーシャルメディアに注目して、日本・中国・台湾のSNSにおける5Gに関するネット書き込み情報を広範に収集した。データの収集にあたり、「5G開通前1ヶ月」、「5G開通後前半年」、「5G開通後後半年」という3つの時間軸を設定した。中国大陸は2019年11月1日、台湾は2020年7月3日より5Gを商用化している。日本は2019年12月24日にローカル5Gの免許申請受け付けを開始し、2020年3月25日より東京駅と大阪駅周辺を中心に公衆通信網の商用化を開始しているが、本研究ではローカル5Gの免許申請を日本の5G開通として扱うことにした。

表1 データの時間軸

データ	5G開通前1ヶ月	5G開通後前半年	5G開通後後半年
日本	2019年11月1日～2019年11月30日	2019年12月1日～2020年5月31日	2020年6月1日～2020年11月30日
中国大陸	2019年10月1日～2019年10月31日	2019年11月1日～2020年4月30日	2020年5月1日～2020年10月31日
台湾	2020年6月1日～2020年6月30日	2020年7月1日～2020年12月31日	2021年1月1日～2021年6月30日

### 2.2 分析方法

表1にある3つの時間軸にそって、まず日本・中国・台湾の5Gの書き込みに見られる共通キーワードや頻出語の差異を抽出し、「5Gの社会的関心」を明らかにする。本研究の5Gの社会的関心とは、SNS上の書き込みから得られた興味や関心と定義する。次に、そのような差異が内在する背景として、情報通信産業の構造と5Gサービス提供側の違いから考察を加え、日中台の5Gの社会的受容の度合いを考察する。これらの分析を通じて、1) SNS上の5Gへの関心の所在と、それぞれの関心のキーワード間でどのようなつながりがあり、さらに日中台間の5G書き込みにおける共通性と個別の特性の明示を目指している。2) なぜそのような関心が持たれたのかについて情報通信産業の構造的要素と関連づけて日中台の「5Gの社会的受容」について分析を試みる。

## 3 結論

日本、中国、台湾におけるSNS上の5G書き込みに関する社会的関心を国際的に収集し、3つの時間軸に基づいた分析を行った結果、日中台における5Gの社会的関心と社会的受容の度合い、それぞれの特徴と共通性を比較しながら把握できた。今後、より体系的な分析を展開する事によって、日本・中国・台湾における5Gの普及、具体的には5Gサービスのエリア展開や情報通信インフラの整備、5Gイノベーション、5Gユースケースなどへの有効な政策的提言を目指している。